

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS507	分類	講義科目
授業科目名	ブライダルコーディネーター実務	英文授業科目名	Practice of Brial Coordinator
年度	2024年度	年次	夜間部 1年 ブライダル科
開講学期	後期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	18.2時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	13コマ
担当教員名	塚本 真央	実務経験あり	
経歴	本校卒業後、都内のレストランでウェディングプランナーを経験。勤めていた5年間、約350組の結婚式を担当。プランナー業務だけでなく、宴会キャプテン、司会、介添え、レストランサービスをマルチに経験。葬祭の経験も持つ冠婚葬祭のスペシャリスト。1級ブライダルコーディネーター技能士		

■授業・科目情報

学習目標	前期科目「ブライダル総論1」で習得した婚礼に関わる専門知識、トレンドを用いて、ブライダルコーディネーターに必要な知識やスキル、立ち振る舞いを実践的に習得する。トレンドだけでなく動向理解(少子化、晩婚化、非婚化)を理解したうえで、ブライダルコーディネーターの業務内容、役割、資質を学びます。		
教科書	「ブライダル総論」財団法人日本ホテル教育センター		
授業計画	回数	内容	
	1	新規接客とは	
	2	新規・施行打ち合わせの流れ	
	3	【手配物】ペーパーアイテム・忌み言葉・長寿のお祝い	
	4	【手配物】引出物・引菓子	
	5	【手配物】写真・映像	
	6	【手配物】装花	
	7	見積もり	
	8	進行・演出①	
	9	進行・演出②	
	10	現在の結婚式における価値観①	
	11	現在の結婚式における価値観②	
	12	トラブル・コンプレイン対応	
	13	後期試験	
授業の進め方	「ブライダル総論」のテキストだけでなく、「ブライダルプロデュース」のテキストで打合せの実務を中心に講義する。		
試験の実施方法	後期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『ブライダル総論1』『ブライダルマネジメント』『ブライダルマーケティング&セールス』		
参考書	「ブライダル総論」「ブライダルの装美と演出」財団法人日本ホテル教育センター 「アシスタント・ブライダル・コーディネーター」公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		
学生へのメッセージ	前期に習得したブライダルの専門知識を基に、ブライダルコーディネーターやパートナー企業が結婚式当日を迎えるまでどのような役割を担い、新郎新婦と打合せを重ねているかを学習します。業務を理解するだけでなく、ブライダルコーディネーターの介在価値も考えます。ロールプレイング等を通し、実践的に学んでいきましょう。		

以上